



ニュースレターVol.04配信のお知らせ

平素より医局関連業務、病診連携等に対し格別なご配慮を賜り誠にありがとうございます。

早いもので第4回目のニュースレター発信となります。コロナでまだまだ日常に戻れませんが、このレターで少しでも大学関連の情報をお伝えできればと考えております。年度変わりということあり少々長文となりますが、お時間のある時にご一読くだされば幸いです。

ごあいさつ

中村友彦

皆様、いかがお過ごしでしょうか。桜が満開に咲き、新しいスーツを来た初々しい若者を多く目にするようになり、新年度の始まりを実感しております。

私が着任してそろそろ一年が経過しようとしています。昨年度は前年に続いて日常からコロナを切り離すことが出来ない生活様式となってしまいました。コロナがいつ収束するのかもわからない状況で、学会がほとんどWeb開催となり人的交流がぱったりと途絶えてしまっております。学会参加を通して普段はかかわらない先生たちとの交流を深め、研究に対するアイデアをお酒を飲みながら議論しあうといったこともなくなっていました。

大学の講義もオンラインとなり、パソコンに向かってひたすらしゃべり続け、普段ならば寝落ちしてしまった学生を気にしながら、つまらない講義だったのかな、とか反省をしてスライドを修正して、次は出来るだけ眠たくならないように講義をしようとしておりました。しかしWebでのパソコンの画面が相手では学生の反応はさっぱりわからず、ほんとに聞いているかな、とモヤモヤとしながらの手ごたえのない講義となりました。質問はありますか、と聞いても反応がなく、では退室して結構です、という一斉に聴講者数がみるみる20くらいまで減っていき、80人は聞いてたのかな、残っている20人は寝てるか他のことをしているのかな、など考えて自分も退出して、実感のない講義の連続でした。幸い臨床実習に関しては、学生に感染者が出た一時期を除いてはほぼ通常通りに行われ、熱心に所見をとりプレゼンをする学生をみて、自分の学生時代よりもよっぽど優秀だなあ、と感心しております。この中から一人でも多くの脳神経内科希望者がでることを願っております。

2022年末の神経・難病センター運営開始に向け工事が始まります。旧内視鏡室に診察室、さらにはヘッドアップティルト試験を行える検査室も作られます。さまざまな神経変性疾患に対する自律神経機能検査を中心として神経変性疾患の病態解明に向けて研究を行っていきます。また電気生理検査にも力をいれており、これは若手医師の教育にも非常に有用となりますので、今まで通り多くの紹介をお待ちしております。

私事ではありますが、昨年てんかん専門医を取得しました。ただ、大学ではてんかん診療を専門的に行えるような体制は整っておらず、小児科、脳神経外科、精神科、臨床検査技師、臨床心理士などとのチーム形成、診療体制の構築といったハードルがあります。幸い脳神経外科もてんかん外科の診療体制を構築したいという考えがあるので、徐々に体制を作り上げていきたいと考えております。てんかんの診断や治療にお困りの際は微弱ながらも役に立てるかもしれませんので、お声掛けして頂ければと存じます。

年度末にはこの一年度の業績についても記載することにしました。この時期には各地の施設から年報が届けられます。一年の活動記録や業績、関連病院の紹介といった多くの情報が詰まっており、その内容、冊子の厚みに圧倒されます。いまはまだこのようなニュースレターでの報告ですが、将来的には年報という冊子を通して大学の活動状況がみなさまに届けられるよう、多くの業績や活動を積み上げていきたいと考えております。

長文になりましたが、学会、研究会、症例検討会などがface to faceで行われ、情報交換会なども通しながら同門の先生方との連携をさらに深めていける日が来ることを願っております。

大学から異動される先生よりご挨拶

寺澤美晴先生

1年間浜松医大で勉強させていただきました。研修医時代を含めると2年間医大に在籍していました。脳神経内科の先生方はもちろんですが、神経難病疾患の患者様や脳神経内科と関わりの深い医療スタッフとの出会いがたくさんありました。中村教授のもとで神経生理検査を学んだことや、学会発表の機会に恵まれたことも貴重な経験でした。1年間ありがとうございました。

私事で恐縮ですが昨年秋に結婚し、姓が「柳田（やなぎだ）」になりました。当院では旧姓で在席していましたが、次の勤務先からは新姓で働こうと思っています。次年度から浜松医療センターで勤務予定です。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

神村純先生

平成31年卒の神村純です。他科のローテーションもありましたが、浜松医大脳神経内科で8か月間お世話になりました。初期研修医の時とは違い責任感が増す中で、理解していることがなにひとつないのではないかと自信をなくすことばかりでした。しかしあたたかくご指導いただけたおかげで、無事に1年間を過ごすことができました。まわりの方々に助けられてばかりでしたが、振り返ると少しは成長できたと感じられる1年間でした。

4月からは静岡赤十字病院でお世話になります。毎日なにかひとつでも自分が成長できるように今後も努力を重ねて、先輩方のような立派な医師を目指し精進して参りたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

大学へ異動してきた先生よりご挨拶

竹ノ内 晃之先生

7年目となりました、竹ノ内晃之です。

岐阜県出身です。浜松医科大学を卒業後は島田、浜松医科大学で研修医を終え、浜松医大、焼津、浜松医療センターなどで指導を受けながら2022年4月より再び浜松医科大学で勤務させていただくこととなりました。以前在籍していた時とは体制も変わった中で、気持ちを新たに頑張っていきたいです。

私の趣味の一つに釣りがあります。大物を狙うのですが、釣れたら釣れたで捌くのも食べるのも大変で、一度釣れるとあまり行かなくなることがあります。先日結婚し（腎臓内科 内山友梨先生です）、魚と一緒に食べる相手ができただけ、心置きなく大物を釣って帰りたいと思います。



寺澤美晴先生が優秀演題賞 を獲得しました

2022年2月20日に行われた第246回日本内科学会東海地方会において寺澤美晴先生の発表した「蛋白尿を伴った抗Contactin-1抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎の一例」が**優秀演題賞**を受賞しました。

おめでとうございます。

2021年度専門医取得

若月里江先生 脳神経内科専門医

中村友彦先生 てんかん専門医

Webカンファレンス定期開催のお知らせ

コロナ禍の中、リモートワークが普及したことをきっかけに、多施設でのリモートカンファレンスを、これまで若手を中心に一部のメンバーで行ってまいりました。今後、広く医局の行事として定期的な開催を行う方針を中村教授よりご提案頂き、2022年4月に浜松医大で症例提示を行いますので、ご都合の合う先生方に参加いただきたいと思います。今後の会の発展のため、内容や対象などについてご意見を賜る機会をいただければ幸いです。

これまではZoomを使用して、リモートで症例提示を行ってまいりました。別途招待メールを送信させていただきます。また、以前の資料のアーカイブ及び今後開催時の資料の共有にDropboxを使用しております。共有を希望される先生は、お手数ですが若月(r-wk@hama-med.ac.jp)までご一報いただけますと幸いです。

業績

<論文など>

英文

Mitsutake A, **Nagashima Y**, Mori H, Sawamura H, Toda T. Paracentral homonymous hemianopic scotoma caused by anterior choroidal artery infarction. *QJM*. 2021;114(6):417-418.

Kikuchi JK, **Nagashima Y**, Mano T, Ishiura H, Hayashi T, Shimizu J, Matsukawa T, Ichikawa Y, Takahashi Y, Karino S, Kanbayashi T, Kira J, Goto J, Tsuji S. Cerebellar Ataxia as a Common Clinical Presentation Associated with DNMT1 p.Y511H and a Review of the Literature. *J Mol Neurosci*. 2021;71(9):1796-1801.

Ando T, Nakamura R, Kuru S, Yokoi D, Atsuta N, Koike H, Suzuki M, Hara K, Iguchi Y, Harada Y, Yoshida Y, Hattori M, Murakami A, Noda S, Kimura S, Sone J, **Nakamura T**, Goto Y, Mano K, Okada H, Okuda S, Nishino I, Ogi T, Sobue G, Katsuno M. The wide-ranging clinical and genetic features in Japanese families with valosin-containing protein proteinopathy. *Neurobiol Aging*. 2021;100:120.e1-120.e6.

Watanabe K, Nakashima M, Kumada S, Mashimo H, Enokizono M, Yamada K, Kato M, Saitsu H. Identification of two novel de novo TUBB variants in cases with brain malformations: case reports and literature review. *J Hum Genet*. 2021;66(12):1193-1197.

Harada Y, **Nakamura T**, Suzuki M, Ueda M, Hirayama M, Katsuno M. Impaired pain processing and its association with attention disturbance in patients with amyotrophic lateral sclerosis. *Neurol Sci*. 2021;42(8):3327-3335.

Ogura A, Kawabata K, Watanabe H, Choy SW, Bagarinao E, Kato T, Imai K, Masuda M, Ohdake R, Hara K, Nakamura R, Atsuta N, **Nakamura T**, Katsuno M, Sobue G. Fiber-specific white matter analysis reflects upper motor neuron impairment in amyotrophic lateral sclerosis. *Eur J Neurol*. 2022;29(2):432-440.

Ando T, Sato T, Kurahashi S, Kawaguchi Y, Kagaya Y, Ozawa Y, Hirano S, Goto Y, Mano K, Yokoi S, **Nakamura T**, Murakami A, Noda S, Kimura S, Sone J, Kuru S, Sobue G, Katsuno M. A case of sporadic late-onset nemaline myopathy with monoclonal gammopathy of undetermined significance: long-term observation of neurological symptoms after autologous stem-cell transplantation. *Nagoya J Med Sci*. 2021;83(3):641-647.

Terada T, Therriault J, Kang MSP, Savard M, Pascoal TA, Lussier F, Tissot C, Wang YT, Benedet A, Matsudaira T, **Bunai T**, Obi T, Tsukada H, Ouchi Y, Rosa-Neto P. Mitochondrial complex I abnormalities is associated with tau and clinical symptoms in mild Alzheimer's disease. *Mol Neurodegener*. 2021 Apr 26;16(1):28.

Nozaki T, Sugiyama K, Asakawa T, Namba H, Yokokura M, Terada T, **Bunai T**, Ouchi Y. Increased anteroventral striatal dopamine transporter and motor recovery after subthalamic deep brain stimulation in Parkinson's disease. *J Neurosurg*. 2021:1-11

和文

若月 里江, 細井 泰志, **渡邊 一樹**, **武内 智康**, 宮嶋 裕明. 経カテーテル動脈塞栓術を要したてんかん発作による非外傷性骨盤骨折の1例. *Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care*. 2021;33(2):73-76.

河野 達啓, 細井 泰志, **若月 里江**, 伊藤 充子, **中村 友彦**. 眼で見る脳神経内科 馬尾神経鞘腫による正常圧水頭症(図説). *脳神経内科*. 2021;95(6):810-812.

中村友彦. 中枢性自律神経障害update レヴィ小体病の自律神経障害. *BRAIN and NERVE*. 2022;74(3):241-248.

中村友彦. Parkinson病における起立性低血圧と体組織との関連. *脳神経内科*. 2022;96(1): 91-96.

<学会発表>

シンポジウム

中村友彦. 基礎と臨床の対話2「パーキンソン病と自律神経症状」 起立性低血圧からみたパーキンソン病. 第74回日本自律神経学会総会. 2021.10. (Web)

一般演題

中村友彦 他. パーキンソン病の起立性低血圧における体脂肪率、体水分率の関連の検討. 第62回日本神経学会学術大会. 2021.5 京都市

若月里江 他. 高齢発症の脳卒中様発作を契機に診断したMELASの一例. 第36回日本神経救急学会学術集会. 2021.6. 川口市

渡邊一樹 他. Identification of two novel de novo TUBB variants in cases with brain malformations. 日本人類遺伝学会第 66回大会. 2021.10 横浜市

渡邊一樹 他. 両側性ACAGGリピート延長を認めたCANVASの1例. 第162回日本神経学会東海北陸地方会. 2022.3. (Web)

寺澤美晴 他. 一過性視野障害から神経核内封入体病の診断に至った1例. 第160回日本神経学会東海北陸地方会. 2021.6. (Web)

寺澤美晴 他. 蛋白尿を伴った抗Contactin-1抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎の一例. 第246回日本内科学会東海地方会2022.2. (優秀演題賞)

<市民公開講座>

中村友彦. パーキンソン病の検査と診断.パーキンソン病と脳・神経の病気を知るセミナーin愛知. 2021.7

5月連休明けより病棟が再編されます

2022年5月の連休明けから、当科は脳外科と一緒に7東病棟に移動します。いままで同じ病棟だった腎臓内科、消化器内科とはまったく別々の病棟となります。

これは医師の働き方改革の一環で、当直の回数を減らすという目的も兼ねているようです。詳細は省きますが、従来のナンバー内科ごとの病棟当直は廃止となり、当直は内科系全体で1名配置、その他はオンコール体制となります。大学での当直回数を減らすことにより、関連病院への当直になるべく影響を出さないという目的もあるようです。オンコールで大丈夫かという不安の声もあろうかと思いますが、各科に一台、自宅につながる電子カルテ端末が配布され、簡単な指示や画像所見のコメントといったことがリアルタイムで自宅にいながら可能となります。

病棟はバラバラとなりますが、学生実習は従来通り第一内科の枠組みの中で行われるため、いろいろと不都合も予想されますが、やってみないとわからないというのが正直な気持ちです。

8西 精神科神経科	8東 血液内科 免疫・リウマチ内科 麻酔科蘇生科 臨床薬理内科 緩和ケア
7西 泌尿器科 腎臓内科	7東 脳神経外科 脳神経内科 皮膚科
6西 整形外科	6東 耳鼻咽喉科 歯科・口腔外科 形成外科 感染
5西 上部消化管外科 下部消化管外科 肝・胆・膵外科 リハビリテーション科	5東 消化器内科 肝臓内科 血管外科
4西 小児科 小児外科	4東 周産母子センター・産科 NICU GCU
3西 呼吸器内科 呼吸器外科 内分泌・代謝内科	3東 眼科 婦人科 乳腺外科 一般外科
2西 心臓血管外科 循環器内科	2東 放射線科 救急 循環器内科 RI PDT HCU
1西 集中治療部	1東 手術部

脳神経センター

浜松医大関連以外の方で配信希望の先生がいらっしゃいましたらご連絡ください。

ご質問・ご意見もよろしくお願いたします。

脳神経内科 武内智康

bunai.t@hama-med.ac.jp